

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス トレインキッズ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 22日		2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69 (回答者数)	30
○従業者評価実施期間	2024年 11月 22日		2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○将来の就労を考えたパソコン療育を実施 ・子供のうちからITを楽しく学べるように、たくさんのパソコンを設置している。 ・パソコンの基本操作を学ぶことにより、パソコンスキルや表現力、創造力の向上を目指している。	・お子様の「できた・やってみたい」等、興味のあることに関連させながら、Excel・Word・PowerPoint・プログラミングを実施している。 ・タイピング練習を継続的に行っている。 ・ネットリテラシーを学ぶ機会も設けている。	就労や自立に向けて、計画的にExcelやWordにも触れる機会を作っていく。
2	○心理学を活用したSSTを実施 ・小集団または個別のソーシャルスキルトレーニングを行っている。 ・挨拶や援助要請などのコミュニケーションスキル・身辺自立の為のトレーニングを行っている。	・『優しい言葉で気持ちを伝える』『相手の気持ちを理解する』等のテーマを設定して、それぞれの児童が感じた事を発表しあい、様々な考え方がある事を知ると同時に、ロールプレイなどを通じて適切な行動を身につけようとしている。 ・自分の意見を伝える力・相手の意見を聞く力等を身につけられるようにしている。 ・SSTの時間にその日の目標(ベ이스ステップ)を決め、自由時間、友達との関わりの中で実践する事により理解を深められるようにしている。 ・友達とコミュニケーションがとれる場として、コミュニケーションゲームを実施している。 ・共通の「好きな事」であれば会話を弾んで仲良くなる事ができるので、意図的に友達の関心に触れる機会も作っている。	・自己肯定感と自己効力感(がんばればできるようになる)と自分を信じられる気持ちを高められるようにサポートしていく。また、自己選択・自己決定する機会も作る。 ・「自分の気持ち」と「相手の気持ち」を大切にコミュニケーションができるようにサポートしていく。
3	○毎週土曜日に、季節のイベント・クッキングイベント・フットサルイベント・外出支援を実施 ・フットサルやマジックショー、BBQイベントなど子供たちが様々な体験をして成長できる場を作っている。 ・保護者向けの子育てコーチング研修も実施している。	・製作や工作、集団遊び等を通じて大人になってからの社会生活に必要なスキル(考える力・判断力等)を伸ばせるプログラムを実施している。	・子ども達が自分のペースで楽しむことができる環境を整える。 ・ホッと息抜きできる「第二のマイホーム」としての役割を担えるように、様々な体験ができるイベントを考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの活動等のスペースが狭い時がある。	・イベント活動時や自由時間に同じ活動をしているお子様が多い場合、狭さを感じる時がある。	・活動ごとに机を移動する等の環境設定を行う必要がある。 ・活動によって人数設定の工夫をする。
2	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有ができていない。	・相談支援事業所を通してのみしか共有できていない。	・相談支援員や保育所等訪問支援をされている事業所の方との情報共有の場を設定する。 ・担当者会議だけではなく、定期的に相談支援員の方と情報共有する場を設ける。 ・事業所内支援会議の場で、アセスメント等を共有する場を設け、質疑応答を通して支援内容をブラッシュアップしていく。
3	就労や進学に向けて、個々に応じて立てた支援計画が予定通り実施できないことがある。	・利用日数が少ない方や毎週通所日が定まっていない方に連続性のある支援を実施できていない。	・他の事業所や学校、相談支援事業所と連携することで、今すべき支援や個々に応じた進路支援を計画し、実施していく必要がある。